

輝く実践のひとたちへ。「つながる」広報誌

# 桜むすび sakura musubi

学校法人  
実践女子学園

vol.13

2023年4月



LINE公式アカウント  
「実践女子学園  
桜むすびonline」を  
始めました。

軽やかに、一步を踏み出して。  
その先に、未来は花開く。



## 【特集】

- 1. 世界へ羽ばたける力と感性を育む ..... 1P
- 2. 対面型イベントの本格再開 ..... 5P
- 卒業生訪問 ..... 7P
- 【学園の最新情報】お知らせします 学園の今 ..... 9P
- お知らせ／短期大学の学生募集停止、新学部・新学科の設置 ..... 11P
- お礼とご報告／実践女子学園 さくら募金 ..... 12P
- 【桜むすびのひろば】 ..... 13P
- 【研究室訪問】塩原 みゆき教授 ..... 巻末

Visiting teacher's office

## 研究室 訪問

学園には多数の教員が所属し、それぞれの専門分野で精力的に研究・教育活動を行っています。今回は、「生活者の目」を重視しながら研究に取り組んできた、生活科学部 生活環境学科の先生にインタビュー。暮らしの中で役立つヒントがたくさん詰まっています。



## 衣類を適切に管理するために。 洗濯・洗浄を、様々な切り口から見つめる。

実践女子大学  
生活科学部 生活環境学科 教授  
**塩原 みゆき**  
Miyuki Shiobara  
専門分野：  
テキスタイル管理学、染色加工学

メーカーやメディア関連企業の研究所に在籍した後、本学に。これまで、衣料の手入れ・管理に関わる洗濯や洗浄などについて研究してきました。

近年取り組んだのは、洗濯で排出される繊維クズについての研究です。繊維クズについては、海洋に流出され環境汚染の一因となっているとして、自然分解されにくいプラスチックのものが問題視されています。プラスチックの繊維クズが生じる代表的な衣料素材に、ポリエステル素材のフリースが挙げられます。家庭用洗濯機でフリース衣料を洗濯した場合、排水中にどの程度繊維クズが放出されるのか、実験しました。

すると、1回目の洗濯では多少の繊維クズが含まれていたものの、2回目の洗濯時にはあまり流出していないことがわかりました。また、目の細かい洗濯ネットを使っても、流出される繊維クズの量はネットを使わない場合とほとんど変わらないことも判明しました。

実は、衣料になる前の生地の状態のフリースを洗濯すると、大量の繊維クズが排出されます。しかし製品化を行う企業が適切に生地の処理を行えば、製品として消費者の手に渡ったフリース衣料を洗濯してもそれほど繊維クズは出ないことが、この結果から推測されます。

また、洗濯中に衣料から出た繊維クズが排水を通じてどれだけ下水に流出するかを計測すると、ドラム式よりも縦型洗濯機の方が、流出量が少ないこともわかりました。これはそれぞれの洗濯機の構造に理由があります。ドラム式の場合は排水口にフィルターがつけられているだけですが、縦型の場合は洗濯槽内部に糸クズなどをキャッチするためのネットがつけられており、ここに繊維クズが溜まるために流出量を抑えられるのです。

フリース衣料であっても、適切な処理がなされたうえで製品化されたものであれば繊維クズの流出にそれほど過敏にならなくてもよいこと、環境負荷を考えてそれでも可能な限り流出量を抑えたい場合は縦型洗濯機の使用が有効であることが、研究の結果からわかりました。

2022年4月に本学に着任し、衣服の材料となる織物や編物、不織布などのテキスタイルを適切に管理するための洗濯や洗浄を主な研究対象とするアパレル管理研究室を主宰しています。初年度は2名の学生が所属し、卒業研究で洗濯を取り上げ

ました。1人は「洗濯習慣」をテーマにアンケート調査を実施。「どんなタイプの洗濯洗剤を使用しているか」という設問には、約1割の方が「粉末洗剤」と回答。「洗濯洗剤に何を期待するか」という設問では1位が「洗浄力」でした。しかし、実際は液体より粉末の方が洗浄力は高いのです。洗浄力の高さを期待しながらも実態を知らないまま、使い勝手などにより液体洗剤を選んでいる方が多いことが浮かび上がりました。

もう1人は「洗濯洗剤の洗浄力」をテーマに、粉末・液体洗剤それぞれの洗浄力を調べ、液体洗剤が粉末洗剤と同じくらい洗浄力を高められるのかについても研究しました。その結果、粉末洗剤の洗浄力は、使用する水の温度に大きく依存すること、液体洗剤の洗浄力を高めるためには汚れの箇所には原液をつける予洗や、つけ置きをすることが有効であることがわかりました。使用する洗剤の特徴を把握して適切に使用すれば、より効果的に衣類の汚れを落とすことができるのです。

今後、研究室では洗濯・洗浄のほか、染色や、繊維素材を使った化粧品の評価なども取り上げたいと考えています。私が所属する生活環境学科には建築をテーマとする研究室もありますので、洗浄についてはキッチンやお風呂、トイレなどに使用する住宅用洗剤についても取り上げたいし、身体に関わる洗浄としてボディソープやハンドソープについても調べてみたい。「生活に根差していること」をベースに、身近で関心を持ちやすいことを追究し、卒業後、学生が生活者として暮らしを営む時に役立つ知識を習得してほしい、また教員としてそのためのサポートを積極的に行いたいと思っています。



◀実験実習のシーン。染色加工学の授業では、学生たちが知識を生活の中で役立てられるよう、好きなものを染料に見立てて染色し、その結果をレポートにまとめてもらう課題も出している。



▶2022年度日野キャンパス 常磐祭では、研究室に所属する学生がボタニカルキャンドルを製作して販売。色とりどりの花を封じ込めた姿が来場者の目を引き、用意した50個が完売した。

実践女子学園「桜むすび」ならびに実践桜会からのお知らせの送付先変更は、実践桜会 HP 上でも手続きができます。https://www.j-sakura-s.org/henkou.html

総合広報誌「桜むすび」13号 発行・2023年4月 発行人・編集人・山本 章正 発行所・実践女子学園「桜むすび」編集部

〒191-8510 東京都日野市大坂上 4-1-1 電話 042-585-8804 (経営企画部) FAX 042-585-8808 E-mail sakuramusubi@jissen.ac.jp https://www.jissen.ac.jp/

編集協力：(株)トリッド



## Advanced English Camp(中学校高等学校)



▲東京湾ならではの自然と風景を、今も堪能できる盤州干潟(千葉県木更津市)。生徒たちは、普段の生活では体験できない、自然に存分に触れる時間を過ごしました。

Advanced English Camp (AECキャンプ)は、中学生が夏休み中にネイティブの先生や留学生と交流しながら多彩な取り組みにチャレンジする教育プログラム。様々なテーマを英語で学び、語り合いを通じて英語力を高めながら視野を広げる機会としています。

### 身近なところにある自然について、英語で理解し会話する

2022年度は8月25日～27日に実施。「干潟の科学」をテーマに、東京湾の過去と現在の姿を知り、未来を想像する学びを行いました。

最初に江戸時代の海が描かれた浮世絵や干潟の生態系について英語で解説された資料で事前学習してから、東京湾の原風景が残る盤州干潟(千葉県木更津市)でフィールドワーク。訪れたのは大潮の干潮時で、普段は海底になっている場所に足を踏み入れ、多種多様な生物に出会いました。中にはカニを手づかみする生徒も!日本とオーストラリアを行き来する渡り鳥のシギやチドリを観察することも今回の目的。見つけてその話題で話し合うことをネイティブの先生とともに楽しみにしていましたが、台風後のため、確認できたのは大型鳥類のカワヤダイサギなど。シギやチドリは残念ながら見つけれませんでした。

最終日には、フィールドワークで感じたことを生徒たちが英語でまとめ、発表しました。



▲ラムサール条約で保護されている千葉県習志野市の谷津干潟では、シギやチドリなどの渡り鳥が訪れます(写真は事前調査で教員が撮影したもの)。



◀今足を踏み入れているところは、潮が満ちている時は海の下。なかなか目にできない、珍しい生き物に出会うことができます。



## Global Open Campus(大学・短期大学部)

Global Open Campusは、国際交流や英語教育など、実践女子大学・短期大学部のグローバルな教育や取り組みについて受験生に理解を深めてもらうことを目的に設けられている場です。外国人の先生による体験授業や、国際交流に関する最新情報の提供など、毎回盛りだくさんのコンテンツを用意しています。

### 多彩なコンテンツを通じて、本学のグローバル教育を紹介

2022年は7月30日に実施。最初にウェルカムガイダンスとして、国際交流推進課のスタッフが、語学教育とグローバル教育について説明し、ポストコロナにおける国際交流や留学の方向性についても紹介。その後、「英語の表現力を高める」「海外の方の日本語についての疑問に答える」「英語の説明力や文章構成力を高める」をテーマとする3つのワークショップを開催しました。また、渋谷キャンパスをめぐるキャンパスツアー、留学経験のある学生とのコミュニケーションスペースなども展開。多くの高校生が、本学のグローバル教育について理解を深めました。



◀短期大学部のワークショップの様子。教員がホワイトボードに書いた単語を使って文章を組み立て、その完成度に合わせてポイントを獲得するゲームを楽しみました。

▶当日配布した資料。英語の設問に英語で答える内容で、クイズ感覚で語学力を高められるものになっています。



世界へ

さまざまな国の人と交流し、語学力を伸ばしながら世界各地の文化やライフスタイルに触れる

# 羽ばたける力と感性を育む

日本はもちろん世界をより良いものへと改革し、未来を切り開くグローバル人材を育てるために。学園では、英語をはじめ外国語を使いこなす力を高め、各国の文化に対する理解を深められる学びの機会を、数多く用意しています。

## 海外インターンシップ(大学・短期大学部)

「インターンシップ」とは、学生が一定期間、企業で働く経験を積む制度です。実践女子大学・短期大学部では、「英語で学ぶ」グローバルプログラムとして、海外で仕事を体験する「海外インターンシップ」を2022年度よりスタートしました。

### グローバルに活躍するために何が必要か、体験を通じて理解する

用意しているのは、アメリカ・韓国・ベトナム・オーストラリア・カンボジアの、5つの国での6つのプログラム。企業でトレーニングを受ける「研修型」と、実際の業務に携わる「就業型」、より主体的にビジネスに関わる「経営型」があり、対象の国や内容から好みのプログラムを選んで参加できます。グローバルに活躍するためにどのような英語力が求められるかを実践の場で理解し、視野も広げられる機会として、学生たちの注目を集めています。



◀各プログラム個別の説明会も実施。現地の様子やスケジュールなど詳しい説明を受けて、学生が納得してプログラムを選べるようにしています。

▶海外インターンシップの全体像について理解を深められるよう、オンラインでの全体ガイダンスを用意。学生は自分の都合に合わせていつでも視聴できます。



## プログラム内容

### アメリカ・シリコンバレー

起業や経営者を目指す学生を対象とした研修型プログラム。世界最先端のベンチャー都市で、現地企業やスタンフォード大学の視察などを通じて「デザイン思考」を学び理解を深めます。(9日間程度)

### アメリカ・フロリダ

「ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート」での研修型プログラム。Walt Disney Companyによるリーダーシップやチームワークのトレーニングを通じて、課題の解決に役立つ想像力を育成します。(8日間程度)

### 韓国・ソウル

アジア航空の研修施設で受ける研修型プログラム。客室乗務員教育で実際に使用される課程に基づき、イメージメイキングや機内サービスなどをアジア航空教官の指導で学びます。(7日間程度)

### ベトナム・ハノイ/ホーチミン

現地企業で仕事を体験する就業型プログラム。現地コーディネーターによる終業後や毎週末のリフレクションもあり、グローバルキャリアについて理解を深められます。他大学との合同プロジェクトです。(32日間程度)

### オーストラリア・シドニー

ホームステイしながら現地企業でインターンシップを受ける就業型プログラム。実際の業務に携わるため、ある程度の英語力があると、より有意義な体験ができる内容になっています。他大学との合同プロジェクトです。(33日間程度)

### カンボジア・プノンペン

現地で事業を展開する「サムライカレー」の店舗運営に携わる経営型プログラム。王立プノンペン大学の日本語学科学部を対としたマーケティングリサーチや、現地学生との交流の機会も用意されています。(14日間程度)

## 参加者インタビュー



英語コミュニケーション学科2年 松井 友海さん

### 自信と、将来の目標をつかむ機会に

カンボジアのプログラムに参加し、SNSを使い現地の方に向けて英語で情報を発信する広報業務を経験しました。どのように宣伝したら効果的かを常に考えるのは大変ではあったけれど、その分、商品が売れた時の達成感も大きい。交流した現地の学生から「英語が上手」とコメントをもらったこともうれしかったです。インターンシップの経験から、「メディアを通じて様々な国の人とつながりたい」と、今後の進路が定まりました。



カンボジアでの一幕。開発した商品を自分たちで販売。

## 海外留学(大学・短期大学部、中学校高等学校)

英語圏を中心に、フランス、中国、韓国など多彩な国の学校で学べる機会を用意しています。どのくらい語学力を伸ばしたいか、何を習得したいかのニーズに合わせて、短期の海外研修から年単位の留学まで幅広い選択肢の中から選べます。

### 留学先▶カナダ・フレーザーバレー大学



文学部  
英文学科4年  
藤島 詩歩さん

「日本の当たり前が世界の当たり前ではない」  
そんな気づきも、未来への大きな財産に

英語力を高めるとともに自分の視野や世界観を広げたいと考え、多民族国家であるカナダへ。留学前は大学の国際交流推進課が主催する英語系イベントのほぼすべてに参加し、アウトプットを意識して英語を学びました。けれど、留学先の授業で行われたグループプロジェクトの初回は何も発言できず、とても悔しかった。英語に自信がないことを仲間に伝え、簡単な文法を組み合わせながら発言することを繰り返すうち、英語で表現する緊張感や不安が少しずつ減っていきました。日本での当たり前が世界の当たり前ではないと気づくシーンも。語学力はもちろんそうした体験が、自分の未来に影響をもたらすのではないかと感じています。



### 留学先▶韓国・檀国大学



生活科学部  
生活化学科2年  
濱口 夕貴さん

憧れの韓国で、多くの学生と触れ合って  
語学力を高め、自信や課題解決力も育む

小さい頃から韓国ドラマが好きで、韓国で暮らしてみたいという思いがありました。留学で伸ばしたかったのは、韓国語でコミュニケーションする力。特にスピーキングは、現地での生活や人との交流の中で効果的に伸ばせるのでは、と考えていました。また、異文化に触れ、多様性についても理解を深めたいと思っていました。留学先で、韓国の学生と一緒に学ぶ授業も受けています。日本のアニメーションや日本語の話などを通じてたくさんの学生と接し、韓国語を使う機会が増えました。留学して、「挑戦すればできないことはない」と自信が付き、課題に直面した時も立ち止まらず行動することができるようになりました。



### 留学先▶オーストラリア・バンクシア パーク インターナショナル ハイスクール



高校1年  
江口 佳希さん

人々の雰囲気、日本との違いを感じて。  
精神的にたくましくなったことも成長の一つ

英語力の向上はもちろん、臨機応変に対応できる力を育み、日本と海外それぞれの良さについて知ることが留学の目的でした。オーストラリアは日本に比べて土地がずっと広く、住宅街から少し離れると羊やカンガルーが暮らす丘があるなど、大自然を肌で感じられる国。たくさんの国や地域から移り住んできた人たちが集まっているので、人々にはそれぞれの個性を受け入れている雰囲気があり、日本と比べ皆が自分に自信を持っているように感じられました。初めてのことはわかりでうまくいかないシーンもたくさんありましたが、状況を何とか打開しようとする姿勢が身につく、精神的にたくましくなった気がします。



### 南オーストラリア州総督フランシス・アダムソン氏が中学校高等学校を訪問

実践女子学園は2011年より10年以上にわたり、南オーストラリア州都アデレードの公立高校へ留学生を派遣しています。この取り組みに関心を抱いたフランシス・アダムソン総督\*が2022年11月29日に学園を訪問。英語でのスピーチやオーストラリア国歌演奏、お点前のデモンストレーションなどで生徒たちが歓迎の意を表しました。



\*オーストラリアは立憲君主制の連邦国家で、君主は英国国王チャールズ三世です。英国にいる君主に代わり国事行為を行うのが総督で、2021年6月よりフランシス・アダムソン氏が務めています。

※学生・生徒の学年表記は2022年度のもので。

## 異文化交流会(Global Village)(中学校高等学校)

学園に招いた留学生に「グローバルリーダー」とな  
っていただき、英語でコミュニケーションしながら  
一緒にフィールドワークやプレゼンテーションに  
取り組むことで、生徒たちが様々な国の文化に触れ  
るプログラム。中学3年生を対象に、2019年から実  
施しています。

▶育った文化や持っている価値観、年齢や性別  
など、多様な背景を持つ人々が皆幸せに暮ら  
せる社会を象徴する「旗」とは…?意見を出し合  
いながらグループでデザイン。



### アメリカ、ベトナム、グアテマラ… 様々な国の留学生たちと触れ合う

2022年度は12月21日～23日の3日間実施。アメリカやオーストラリア、ベトナムからグアテマラまで幅広い国から集まった50名以上の留学生と触れ合いました。1日目はオープニングセレモニーの後、グループに分かれて自己紹介などを行い、「多様な文化背景を持つ人々が活躍する(幸せに暮らす)世界」をテーマに「旗」をデザイン。2日目はグループごとに渋谷の街へ。「誰もが平等にいきいきと暮らせる渋谷」を考えるための調査を行いました。



◀スクランブル交差点やハチ公前、宮下公園…異文化で育ったグローバルリーダーと歩くことで、生徒たちにとって身近なはずの渋谷の街からいろいろな気づきを得られます。



▲渋谷の街中を散策しながら、海外の方にとって利用しやすい点や利用しづらい点、魅力的なところなどをチェック。



▲フィールドワークで得た発見を持ち帰り、プレゼンテーションの準備。内容を英語でまとめていきます。

### 英語力・コミュニケーション力と 異文化への理解力も高めた3日間

最終日はフィールドワークで収集した情報をまとめ、まずクラス内でプレゼンテーション。各クラス1グループずつが選出され、最後に講堂で開催されたプレゼンテーション大会に出場しました。エンディングセレモニーでは、グローバルリーダーの英語の呼びかけに英語で応える生徒たちの姿が。「積極的にコミュニケーションする」「異文化の存在を知り、理解を深める」という、グローバル社会で欠かせない姿勢を身につけた様子が印象的でした。

### プレゼンテーションの様子

#### グローバルリーダーからのメッセージ

間違っても恥ずかしがらないで！  
積極的に、人と話してほしい

この3日間、皆さんと一緒に学ぶことができとてもうれしかったです。私も今、日本語の勉強をしていますが、語学の勉強は本当に難しいと感じます。けれど、間違ってもいいのです。人と話すことを、これからも大切にしたいと願っています。  
(Marianaさん)



「ベストプレゼンテーション賞」を獲得したのは3-Aグループ。グローバルリーダーとの寸劇を交えたりスライドを視覚的に構成したりと、工夫を凝らした内容が評価されました。



「ベストアイデア賞」を受賞した4-Aグループ。海外の方の目線に立った時の、スクランブル交差点や代々木公園のGood Point・Bad Pointを紹介しました。



「ベストチームワーク賞」は6-Eグループに。「代々木公園で見つけたこのピクトグラムは何のスポーツ競技のもの？」などクイズを盛り込みながら、自分たちの発見を表現しました。



1日目に作成した旗の表彰も行われました。アイデアとオリジナリティ、そして想いが詰め込まれたデザインの中から、各クラス1つが優秀作として選ばれました。

9月17・18日  
**中学校高等学校ときわ祭**

「クラブ活動の発表の場」と位置付けられている中学校高等学校のときわ祭。今回は学術系・芸術系・体育系と幅広い分野から50団体以上が参加し、校舎から桃天館、記念体育館と校内の施設を目一杯使って、保護者をはじめ多くの方に活動の成果をお見せしました。



1 中高国語文芸部 創作チームでは、想像力の翼を思いっきり羽ばたかせて物語をつくり、何冊もの同人誌に。心を込めて仕上げた作品を、来場された方にお渡ししました。



2 中高書道部は教室いっぱいに作品を展示。その名蹟に、たくさんの来場者が見入っていました。書道体験コーナーでは、生徒たちが思い思いに筆を走らせる様子も。



3 中高和装着付け部の講義発表。「全日本さきもの装いコンテスト世界大会」(2022年4月24日開催)で好成績を収めた着こなしの技や表現力、チームワークをお見せしました。

実行  
 委員長  
 より



中学校3年  
 日比 麻帆さん  
 久しぶりの完全対面型  
 だからこそ、誰もが楽しめることを目指しました。  
 来年はさらに進化した姿をお見せしたいです。



高校2年  
 狩田 小春さん  
 ほぼゼロからの準備で  
 苦勞もしましたが、当日  
 はすべてが楽しかった。  
 実施できて良かったと、  
 心から思っています。

6月10日  
**大学・短期大学部 合同体育祭**

日野キャンパスで開催。学生同士接触しないゲーム形式で、6種類の競技を実施しました。今回は、1チーム4名編成で約60チームが参加し、250名近くの学生がグラウンドと体育館で存分に身体を動かしました。



- 1 日野キャンパスのグラウンドで行われた開会式では、それぞれの距離をしっかりと確保してみんなで準備運動を。
- 2 的に向かってボールを投げ、当たった場所の数字が点数になるストラックアウト。コントロール力が問われます。
- 3 的にボールを蹴って当て、高得点を目指すキッキングスナイパー。ボール的に当たるたび、歓声が上がりました。

10月8日  
**中学校 運動会**

昨年は開会式・閉会式を放送で行い競技数も減らしての開催でしたが、今回はほぼ通常のスタイルで実施。中学1年生から3年生が一堂に会し、16種類の競技を行いました。



- 1 学園名物メイボールダンスも実施。青空の下に美しいリボンの輪が広がりました。
- 2 全員参加種目の大縄跳び。縄の回転を見極めながら、息を合わせてジャンプ!
- 3 こちらも全員参加のクラス対抗リレー。抜きつ抜かれつ、最後までハラハラドキドキの展開に。

6月23日・24日  
**高等学校 球技大会**

各クラスの生徒がドッジボール、バレーボール、卓球の3種目に分かれて参加。試合の様子はオンライン配信され、出場・控え選手以外の生徒は教室で応援を行いました。閉会式では久しぶりに皆が講堂に集合し、一つの空間に集まる一体感を味わいました。



2 閉会式では好成績を収めたチームを表彰。生徒たちはお互いに健闘をたたえ合っていました。

1 バレーボールの試合の様子。審判はバレーボール部所属の生徒が担当しました。

特集  
 2

顔を合わせ、言葉を交わして。ともに過ごす楽しさを、改めて実感

**対面型イベントの本格再開**

新型コロナウイルス感染症対策として2020年度より停止していた対面型イベントを、今年度から本格的に再開。時間と空間を共有し、「一緒に楽しむ」喜びを改めて噛みしめた学生・生徒の様子をご紹介します。

10月8・9日  
**渋谷キャンパス 常磐祭**

大学 文学部、人間社会学部、短期大学の拠点。1階エントランスホールに設置したステージ、そして各階の教室で行った展示で、学生たちが日ごろの活動の成果を全力でカタチにし、披露しました。開催日にはたくさんの来場者でキャンパス全体がにぎわいました。



- 1 国際観光研究部のブースには、クロアチア大使ご夫妻が登場!自然豊かな観光資源で注目を集めるクロアチアの魅力について、存分にお話していただきました。
- 2 生田流箏曲部と下田歌子記念女性総合研究所のコラボレーションによるステージ発表。下田先生が作詞された『雪の下』の合唱が行われました。
- 3 各部・サークルが趣向を凝らして演目を披露したステージ。その前には多くの人が集まって鑑賞し、エントランスホールに活気と熱気があふれました。



実行  
 委員長  
 より



人間社会学部  
 現代社会学科3年  
 竹中 佳奈子さん

人と人をつなぐ場を実現  
 できた手応えを感じました

私たち3年生にとっても初めての全面対面型開催。その分、「いろいろな新しいことに挑戦できる!」とワクワクしながら準備しました。開催当日、たくさんの方が目を輝かせながらステージや展示をご覧になっている様子を目の当たりにして、学生と皆さまとをつなぐ場を実現できた達成感を感じました。

11月12・13日  
**日野キャンパス 常磐祭**

大学 生活科学部の学生たちが学ぶ日野キャンパス。ここでの常磐祭には、例年、周辺地域から多くの方が来場されます。今回も、お子さまからご高齢の方までたくさんの方がお越しになり、館内の展示やグラウンドでの模擬店・ステージ発表などを楽しまれました。



- 1 現代生活学科 須賀ゼミでは、地域の方々と協働で行った街歩きやお祭りなどの活動を展示で紹介したほか、フィールドワークの舞台の一つ・新潟県布川産新米の販売も。
- 2 生活環境学科 建築デザイン研究室の展示の様子。「夏の団らん空間」をテーマに、学生たちが研究室の一画を癒しの空間に変身させる過程をお見せしました。
- 3 YOSAKOIソーラン部「WING」の元気いっぱいの踊り。ステージではほかにも多くのクラブやサークルが歌や演奏、ダンスなどを披露し、来場者の目を魅せました。

実行  
 委員長  
 より



生活科学部  
 食生活科学科3年  
 栗原 史歩さん

「地域とつながる」喜びや  
 温かさを改めて感じる機会に

当日は予想以上のお客様が足を運んでくださってびっくり。「楽しみにしていたよ」という、地域住民の方の声が何よりうれしかったです。対面型開催は一体感があるし、会場の盛り上がりもやはり一味違う。今後も、地域や人とのつながりが感じられる、温かい常磐祭を後輩たちに引き継いでいってほしいです。

※学生・生徒の学年表記は2022年度のもです。



## 学園で出会った仲間との交流が 起業の原動力になりました

株式会社Surpass 代表取締役社長

石原 亮子さん

**高** 校・短大と実践女子学園で学びました。自分の個性を發揮しながらのびのびと過ごした時間、そして気の合う仲間たちとの出会いがそこで得た財産です。起業を志す私を信じて応援してくれたのも彼女たち。皆真面目で真摯に目の前のことに取り組むのに、女性であるために勤務先でその実力を正當に評価されない様子を目の当たりにして、「これではいけない」と悔しさを感じたことが、自分の会社を立ち上げる原動力に。この先は営業職もプロフェッショナル化していくという予感と、日本社会がさらに健やかに元気になるためには女性をもっと活躍することが必要、という想いを掛け合わせ、「女性スタッフ中心の営業アウトソーシング企業」というカタチに結実させました。山あり谷ありでしたが設立から15年目を迎え、約180名の社員が、それぞれの配属先で持てる力を發揮してくれています。

今後の目標は、女性を中心に意欲のある方がいつからでも挑戦して収入を得られる場を増やすこと。同時に、大学などと協働し、これから社会に出る若い方が自分で人生をデザインし切り拓く力を身につけられる機会を用意していきたいと考えています。

1998年3月 高等学校卒業、2000年3月 短期大学・生活文化学科卒業

## 仕事を通じ人生の喜びや楽しさ を実感できる環境の創造へ

株式会社KDDIチャレンジド 代表取締役社長

間瀬 英世さん

**元**々それほどキャリア志向が強かったわけではなく、新卒当時は数年社会人を経験すればいいくらいの意識でした。新しいことや現状を変えることに挑戦するのが好きで、与えられたチャンスに精一杯に取り組んだ日々が現在につながったのかもしれない。

当社は障がいのある社員がさらに活躍しやすい環境を創出するため2008年に設立されました。私は2020年4月より現職を務め、障がいのある方が働くことを大切に感じ、仲間に出会いやり遂げた達成感を味わう経験を通じて、生きることの楽しさや喜びを実感できる環境の確立を目指して経営に向かっています。

学生や生徒の皆さんには、「自分はどうな目的を抱いて仕事をするのか、生きていくのか」を常に考えていただきたい。内容は変わってもいいのです。不確実性が増す時代の中で、進みたい方向性を定めそこに向かって行動する姿勢が、その時々自分を支えてくれるのではないかと思います。悩んだり迷った時は、ぜひ私たち卒業生に声をかけてください。いろいろな考えや価値観に触れる経験は視野を広げてくれるし、人とのつながりをつくっていくこと自体、とても面白いものですよ。



1985年3月 高等学校卒業、1987年3月 短期大学・家政科生活文化コース卒業

実践女子学園の卒業生は、2023年度末現在約175,000名。企業や地域、家庭とそれぞれのフィールドで全力投球し、輝く日々を送られています。

今回は、世代も様々な3名の卒業生にインタビュー。学園での思い出や現在のこと、将来の展望などをお聞かせいただきました。

## 夢は、商品を通じて日本美術の 魅力を世界に発信すること

Francfranc BAZAR ジャズドリーム長島店 勤務

松田 珠美さん

**美**学美術史学科を卒業後、“身近なものを通じて多くの方に幸せを届けたい”という想いで日本発のインテリアショップ「Francfranc」へ。現在は「Francfranc BAZAR」の店舗でマネジメントや接客を担当しています。

大学では日本美術を専攻し、卒業論文で長谷川等伯の『楓図』をテーマに取り上げました。作品が描かれた時代や用いられた技法、絵の具など、様々な視点から一つの作品を掘り下げ、多くの人を惹きつける魅力は何かから生まれているのかを追究する作業はとてもエキサイティングで、忘れられない経験に。作品研究を通じて育んだ考察力を現在の仕事にも活かし、商品選びについてご相談をいただいた際は、現在の暮らしなどについても伺いして理想のライフスタイルの実現につながるご提案を行うことを大切にしています。

アートブームの現在、当社もアートとインテリアを融合させた商品を取り揃えるように。その多くが洋画を用いたものなので、日本美術とコラボレーションしたアイテムがあればより身近に日本の美術作品に親しんでもらえるのでは、と思っています。本学で養った感性を活かし、商品開発に携わることがこれからの目標です。



2019年3月 大学・文学部美学美術史学科卒業

## 卒業生による授業

学園では各界で活躍する卒業生の方に、学生・生徒に向けて講演していただく機会を積極的に設けています。2022年6月16日には、大学の共通教育科目「女性とキャリア形成」(担当: 深澤晶久教授)のリレー講座第四回に、1987年英文学科ご卒業の政井貴子さん(SBI金融経済研究所 取締役理事・本学客員教授)がご登壇。世界の女性活躍推進や日本社会の流れを解説しながら、外資系金融機関、新生銀行での仕事や、日本銀行 政策委員会審議委員でのご経験、その中で養われた価値観など、ご自身のキャリアについて振り返っていただきました。

学生から寄せられた「女子大で学んで良かった点は？」という質問には「ジェンダーギャップがなく、企画やリーダーに挑戦できる。そしてこれらを通じ、社会で役立つ“イニシアティブを取る”経験を積むことができます」と回答。受講した多くの学生たちを力づけました。



## 校祖生誕の地で移動教室

中

岐阜県恵那市岩村町の中学生との交流の機会も

2022年5月9日～13日、校祖・下田歌子先生の墓参のため、中学2年生が移動教室で岐阜県恵那市岩村町を訪問。岩邑中学校の生徒の皆さんに岩村の町を案内していただきながら、下田先生が育った地をめぐる、先生に思いを馳せ、親しみを抱くひとときを過ごしました。

ほかにも多治見・瀬戸での陶芸体験や馬籠宿での散策、名古屋城・徳川美術館見学を行うなど、充実した2泊3日を過ごしました。



## 着付けの世界大会で入賞

高

和装着付け部生徒の着こなしや表現力が評価される

「全日本きもの装いコンテスト世界大会」が2022年4月24日にメルパルクホール(港区)で開催され、和装着付け部の高校2年生3名が出場。「学校対抗の部」で世界4位となりました。「学校対抗の部」では、鏡のない舞台の上でいかに早く美しくきものを装うかを競います。着こなしの技だけでなく、立ち居振る舞いやチームワーク、表現力も審査の対象です。本校より出場した生徒は昨秋の関東大会で3位入賞し、今回の世界大会へ。全国7地区から予選を勝ち抜いた精鋭を相手に奮闘しました。



## 下田歌子先生のお墓に参拝

大短高中

実践桜会館・中学校高等学校に設けた祭壇にもお参り

学園創立者・下田歌子先生のご命日である10月8日、学園では毎年、東京都文京区の護国寺にある下田先生の墓前に関係者が参拝しています。2022年度も山本章正理事長らが参列。墓前にお線香を手向けた後、実践桜会館(同窓会会館)や中学校高等学校の香雪記念室に設けられた祭壇にもお参りを行いました。



お知らせします

# 学園の今

実践女子学園のニュースや功績、学生・生徒の活動をご紹介します。イベントなどのお知らせも。

大学 短大 高校 中学校

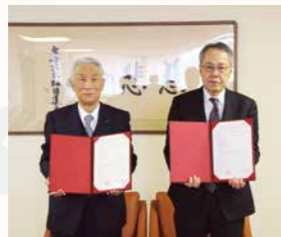
<https://www.jissen.ac.jp/> (大学・短期大学部)  
<https://hs.jissen.ac.jp/> (中学校高等学校)  
からも詳細・新情報をご覧いただけます。

## 他校・他大学との連携

大短高中

武庫川学院・京都女子大学と協定を締結

教育・研究・学生支援の充実、施設・設備の相互利用や教職員の交流等により、効果的・効率的に教育・経営の質の向上を図るため、学園では他の学校法人との連携を積極的に進めています。2022年12月には武庫川学院(兵庫県)、京都女子大学(京都府)と「連携・協力に関する協定」を締結。今後、単位互換制度の設置やイベントの協働開催、双方の学生・生徒による共同プロジェクトの実施、地方入試会場の相互提供等、検討を進めています。



## 新たな学生支援の取り組みが始動

大短

自身の成長体験を発表。優秀作には報奨金も支給

2022年12月17日、第1回目「Jissen Student's Reflection Award(JSRA)」の最終選考会と表彰式が渋谷キャンパスで行われました。JSRAは学生のリフレクション\*の習慣化・言語化を支援するもので、大学・短期大学部2年生によるコンペティションを通じて選考が行われます。当日は一次審査通過の10名がプレゼンテーションし、大学 文学部 英文学科の廣津 菜摘さんが最優秀賞、人間社会学部 人間社会学科の舞原 有紗さんが審査員特別賞に選ばれました。

\*学びや体験を振り返ること。



## キャンパス見学会を開催

大短高中

学園の高校生が「実践での学び」を体感

大学・短期大学部と中学校高等学校が進める「高大連携」の一環として、学園の高校生に向けたキャンパス見学会を実施しました。日野キャンパス見学会は高校2年生を対象に2022年5月20日に開催。生活科学部 生活環境学科 榎 研究教授による講演や授業体験などを行いました。渋谷キャンパス見学会は高校1年生を対象に、同年6月22日に開催。人間社会学部 人間社会学科 粟津 俊二教授による模擬授業やキャンパスツアーを行いました。高校生たちはこの見学会で「実践の学び」への理解を深めました。



## 全教職員対象の研修会を実施

大短高中

教職員の交流と能力向上を通じ「高大連携」を加速

学園では、中学校高等学校から大学・短期大学部まで一貫した、「実践女子10年教育」の推進のため、「高大連携」を強化しています。それぞれの職員が交流することで教育連携をより効果的に展開するべく、2022年6月30日には全教職員を対象に「FDSD\*研修会」を実施しました。渋谷キャンパスでの対面型のほか、Zoomによる配信も同時に実施。高大連携に関する講演の後、活性化を考えるグループワークを行いました。

\* Faculty Development・Staff Development 授業方法やカリキュラム内容の改善・向上、教育機関運営に求められる知識・スキルの習得と資質の向上を目指す組織的な取り組み。



## 源氏物語研究の拠点として

大短

五感で源氏物語の世界を体感できるイベントを開催

本学は文部科学省「私立大学研究ブランディング事業(2018年度)」に「源氏物語研究の学際的・国際的拠点形成」で採択されました。これは源氏物語研究の伝統を誇る本学が国際的な研究拠点となり、日本文化の深い教養と発信力を備えた人材を輩出する研究機関として地域と世界に貢献することを目指すものです。2022年度はその成果発信イベントとして「源氏物語の、実践」を開催。研究の成果や本学が所蔵する貴重な古典籍を紹介したほか、講演会や体験会も実施し、源氏物語の世界を体感できるものとなりました。



## 「実就職ランキング」で高位獲得

大

キャリア形成支援改革の結果、実就職率が過去最高に

株式会社大学通信が全国743大学\*に2022年の就職状況を調査し、555大学から得た回答をもとに作成する「実就職率ランキング2022」で本学が全国女子大学2位を獲得。また、主要企業への就職実績に基づく「就職偏差値が上がった大学2021」ランキングでは規模別で全国1位となりました。本学が進める第一期キャリア形成支援改革が実就職率の向上につながり、2018年度の90.2%から2021年度は94.0%へ。過去最高の成果を挙げることができました。

\* 医科・歯科の単科大学等を除く。



## 名誉称号の贈呈

大短高中

式の中で、2020年度・2021年度対象者のご紹介も

2022年度の名誉称号贈呈式を、同年10月8日に実施。大学卒業生、中高保護者、元教員ご家族の4名に、名誉称号と記念品を贈呈しました。当日は対象者のうち大学卒業生の神田千恵子さまがご出席されました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により贈呈式が行えなかった2020年度、2021年度の名誉称号贈呈対象者の方についてもご紹介が行われ、城島 栄一郎元学長や石野郁也元校長もご参加されました。同日に渋谷キャンパス常磐祭も実施されており、皆様にお楽しみいただくことができました。



## ユネスコスクールに加盟

高中

志を同じくする世界中の学校とパートナーシップを育む

2022年11月、中学校高等学校のユネスコスクール加盟が承認されました。ユネスコスクールは、「地球規模の諸問題に若者が対処できるような、新しい教育手法の開発・発展を目指すこと」を活動目的の一つとしています。中学校高等学校も加盟を機に、「国際社会の構成員であるという意識を持ち、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献すること」をテーマに、同じ志を持つ世界中の学校と交流して知見を共有し、パートナーシップを育んでいきます。



\* 学生・生徒の学年表記は2022年度のもので。

# 実践女子学園さくら募金

さくら募金には今年度、合計749件・12,154,500円のご寄付をいただきました(2023年1月末現在)。心より御礼申し上げますとともに、今後も学生・生徒への温かいご支援をお願い申し上げます。

## 寄付金の使途

1 学生・生徒への奨学金	2 教育支援	3 課外活動支援	4 下田歌子先生顕彰事業	5 その他(学園に一任)
2,151,500円	856,000円	4,410,000円	114,000円	4,623,000円

※1~5以外の使途を希望される方は事前にご相談ください。

## お申込み・払込方法について

2種類よりお選びいただけます。お近くの郵便局、またはお手持ちのパソコン・スマートフォンにてお手続きください。

**郵便局より**  
同封の「振込取扱票」に必要事項をご記入の上、郵便局でお手続きください。

**パソコン・スマートフォンより**  
本学Webサイト「実践女子学園さくら募金」よりお手続きください。  
[https://www.jissen.ac.jp/wish\\_of\\_support/01/index.html](https://www.jissen.ac.jp/wish_of_support/01/index.html)



**お礼の品** ご寄付をくださった方に感謝の気持ちを込めて、本学にゆかりのある品を贈呈しております。ご寄付額に合わせ、以下より一品、お選びいただけます。お申し込み時に、商品紹介に記載の4桁の番号をご記入ください。

### 1万円~5万円未満のご寄付

**20-01**  
焼き菓子プチギフト  
さくらスコーン 1個  
野菜マドレーヌ 2個  
スコーンとマドレーヌのプチギフト。(パティスリールパン製)

**20-02**  
実践女子学園グッズ  
お申し込みの時期によって内容は異なります。

### 5万円~10万円未満のご寄付

**20-03**  
カステラ  
ハヶ岳かすてら  
ハヶ岳卵 100%使用の極上のかすてら。(中村農場製)

**20-04**  
日本酒  
女城主 特別純米酒  
人気銘柄を学園限定デザインで。(岩村醸造製)

**20-05**  
さくらスコーン・野菜マドレーヌ  
桜の葉を入れたスコーンと日野菜素材のマドレーヌ。(パティスリールパン製)

**20-06**  
実践オリジナルエコバッグ(ポーチ付)  
実践橋企画(株)と協同制作。A4タテ・ヨコサイズに対応。

### 10万円~30万円未満のご寄付

**20-07**  
親子丼セット  
特製親子丼セット5人分  
中村農場産鶏肉と地鶏卵、特製タレをセットに。(中村農場製)

**20-08**  
日本酒  
女城主 大吟醸  
大吟醸酒を学園限定デザインで。(岩村醸造製)

### 30万円以上のご寄付

**20-09**  
水炊きセット  
ほろほろ鳥の水炊きセット  
最高級のお肉を特製スープとともに。(中村農場製)

**20-10**  
日本酒  
女城主 純米大吟醸+大吟醸  
人気銘柄を純米大吟醸と大吟醸で。(岩村醸造製)

#### パティスリールパン

ワインソムリエのオーナーが日野に立ち上げた異色のパティスリー。さくらスコーンと野菜マドレーヌは本学の学生と共同開発した商品です。

#### 中村農場

卒業生の中村由紀子さん(家政学部食物学科/1996年卒)がハヶ岳南麓で経営する農場。新鮮な鶏肉・卵やそれを使った商品・スイーツなどが人気です。

#### 岩村醸造

天明7(1787)年創業。創立者 下田歌子先生の生誕地・岩村に蔵を構える酒蔵です。熟練の杜氏が醸したお酒を販売しています。

・酒類のお申込みについて 番号 20-04、20-08、20-10 については、20歳以上の方のみお申し込みが可能です。  
・税制上の優遇措置について 実践女子学園へのご寄付には税制上の優遇措置が適用されます。詳細は本学 Web サイト「実践女子学園さくら募金」をご覧ください。  
・個人情報の取り扱いについて ご提供いただいた個人情報は、寄付の受付、寄付金受領書の発行および募金管理業務(寄付台帳作成、行事のご案内等)、お礼の品の発送以外に利用せず、適正に保管いたします。  
・遺贈によるご寄付について 本学では三井住友信託銀行と提携し、遺贈による寄付のご相談を受け付けております。遺言により、御自身の築かれた財産の一部または全部を相続人以外の人や団体に遺すことを「遺贈」といいます。実践女子学園の発展のためのご支援として、本制度についてご理解・ご検討をお願い申し上げます。

お問い合わせ先

学校法人実践女子学園 経営企画部  
〒191-8510 東京都日野市大坂上 4-1-1 TEL:042-585-8937(直通)

## 実践女子大学短期大学部 2024年度以降の学生募集停止につきまして

**学** 校法人実践女子学園は、このたび実践女子大学短期大学部について、2023年(令和5年)度の入学生を最後として2024年度以降の学生募集を停止することを、2022年10月22日開催の理事会において決定いたしました。

短期大学部は、1950年に実践女子学園短期大学として創設して以来、70余年にわたり「女性が社会を変える、世界を変える」という建学の精神に基づく教育を基本として有為な人材を養成し、4万人を超える優秀な卒業生を輩出して社会に貢献してまいりました。

しかしながら21世紀に入り、18才人口の減少や4年制大学志向の高まりなど社会状況の大きな変化が加速したのを受け、学園は短期大学部の存続の手段を探るとともに、将来のあり方等について種々検討を重ねて参りました。数年に及ぶ検討の結果を受けて、理事会が慎重に審議した結果、まことに残念ではありますが、2023年度の入学生を最後に新たな学生募集を停止するという結論に至りました。

現在、学園は、今日まで培ってきた短期大学部の

学びを継承しつつ、これまでの教育・研究をさらに充実させて、実践女子大学に言語・コミュニケーションと日本文化も学べる国際系の新しい学部を設置することを計画しています(2024年度設置構想中)。

実践女子短期大学及び実践女子大学短期大学部の卒業生の皆様にとって、栄えある母校の名前がなくなるという寂しさは計り知れないことと存じますが、学園のさらなる発展のために何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

一 常磐の松のしたかげに ひらく教のにわか  
君がめぐみのつゆあびて におえ八島の外までも  
(下田歌子先生作詞「実践女子大学・短期大学部校歌」)

実践女子学園関係者一同、創立者下田歌子先生の想いを連綿と受け継ぎ、一層の発展に向けて全力を注ぐ決意を新たにしている次第です。今日まで、短期大学部の教育・研究及び諸活動に多大なご理解とご支援を賜りました皆様に厚く御礼申し上げます。

## 新学部・新学科設置のお知らせ

2024年4月、建学の精神「女性が社会を変える、世界を変える」を加速させるべく、新たに国際学部を開設し、人間社会学部の中に社会デザイン学科・ビジネス社会学科を設置します。(2024年度設置構想中)

### 新学部

#### 国際学部国際学科

異文化の人たちとコミュニケーションできる英語運用能力を身につけ、未知の物ごとにも主体的に接し、多様性を受け入れ尊重する精神のもと、言語や文化、民族、宗教、価値観などが異なる人々と共生共存を図る女性を育成します。

### 新学科

#### 社会デザイン学科

社会学に加え、共創デザインやソーシャル・データサイエンス、メディア・イノベーションなど社会科学を幅広く学び、社会の問題を発見し解決する社会デザイン力を身につけ、地域社会やビジネスなどの分野で力を発揮する女性を育成します。

人間社会学部の現代社会学科は「ビジネス社会学科」に名称変更します。

## 2023,4-2024,3 EVENT SCHEDULE

卒業生の皆さま、在学生・在校生、地域の方々と本学園とをつなぐ多彩な催しを、今年も企画しています。教養を深める機会として、未来を切り拓くチャンスとして、楽しい日々を振り返るひとときとして、ぜひお越しください。

### 実践女子大学香雪記念資料館 2023年度企画展 年間スケジュール 大短高中


会期	タイトル
2023年 4月 3日(月)～ 5月12日(金)	第22回 学祖・下田歌子展 —実践女学校と姉妹校—
2023年 5月20日(土)～ 6月11日(日)	第7回新収蔵品展
2023年 6月26日(月)～ 7月21日(金)	中国美術史入門展Ⅰ期
2023年 8月 7日(月)～ 9月 2日(土)	青梅夜具地と青梅嶋—過去・現在・未来を紡ぐ
2023年10月 2日(月)～11月18日(土)	波多野華涯展
2023年12月4日(月)～2024年1月31日(水)	中国美術史入門展Ⅱ期

**香雪記念資料館**

【場所】創立120周年記念館  
(渋谷キャンパス)1F

【入館料】無料

【HP】<https://www.jissen.ac.jp/kosetsu/>



※展覧会名、会期は変更になる場合がございます。また、展覧会によって休館日が異なります。詳細につきましては、ホームページ等でご確認ください。

### 実践女子大学生涯学習センター


**生涯学習講座**

2023年度前期から新しい講座が続々とスタートします。「世界の酒、日本の酒 一知って得する酒学講座」、「くずし字を読む(入門編)」、「チャレンジ!初めての朗読」など。優待割引もあり気軽に始められます。一緒に学びませんか?

【履修証明プログラム】  
**実践キャリアアッププログラム  
マネジメントリテラシー修得コース**

2023年度第3期生を募集します。  
6月3日より渋谷キャンパスにて開講します。  
組織のリーダーに必要な5分野について修得するコースです。

詳しくは、実践女子大学 生涯学習センターへ。下のQRコードからホームページにアクセスできます。



**2023年度 ときわ祭・常磐祭 ホームカミングデーのお知らせ**

高	中	第71回	ときわ祭	9月16日(土)～17日(日)	
大	短	第10回	渋谷キャンパス常磐祭	10月 7日(土)～ 8日(日)	
大	短	第67回	日野キャンパス常磐祭	11月11日(土)～12日(日)	
中	高	大	短	大学院	ホームカミングデー 渋谷キャンパス* 10月 8日(日)

※渋谷キャンパス常磐祭との同時開催です。詳細は後日ホームページ等でお知らせします。

受験生のご息女・ご令孫・ご令妹がいらっしゃる卒業生の皆さまへ  
**「卒業生・在学生子女推薦」をご利用ください**

実践女子大学では、卒業生および在学生の子・孫・姉妹を対象とした入学者選抜「卒業生・在学生子女推薦」を行っております。卒業生の皆さまのご息女・ご令孫・ご令妹で、本学にご興味をお持ちいただける受験生の方がいらっしゃいましたら、本制度のご利用もご検討いただけますと幸いです。詳細は、本学ウェブサイト「入試・入学」ページに掲載しております。個別相談も行っておりますので、ぜひお問い合わせください。

お問い合わせ先 **実践女子大学 入学サポート部**  
TEL.042-585-8820

### 投稿随時募集中!

近況やご趣味、同窓会のお誘いなど、お気軽にご投稿ください。投稿は綴じ込みの返信用ハガキ(卒業生のみ)、または下記宛にハガキやメール、FAXでお願いいたします。

ハガキ 学校法人実践女子学園 経営企画部内「桜むすび」編集部 行

メール sakuramusi@jissen.ac.jp

FAX 042-585-8808

※できるだけ多くの方のお便りを掲載させていただきますが、企画内容により掲載できない場合、また掲載が先送りされる場合もございます。あらかじめご了承ください。  
※営利目的の内容については掲載できませんのでご了承ください。お寄せいただいた個人情報、学校法人実践女子学園および一般社団法人教育文化振興実践桜会が管理し、本広報誌ならびにお知らせの発送以外の目的には使用いたしません。

## ホームカミングデーを開催しました

2022年11月13日、日野キャンパスとZoom(オンライン型ビデオ通話サービス)でホームカミングデーを開催。3年ぶりの対面型開催でありオンラインの場もご用意したことにより、約150名の方にご参加いただきました。20代の方も多数参加されるなど、これまで以上に幅広い年代の卒業生がご参集。初めてキッズスペースも設置し、今年度のテーマ「全世代が楽しめるホームカミングデー」が実現しました。



日野キャンパスでの対面型会場の様子。

J-STAFF(在学生スタッフ)が常駐するキッズスペース。

## 各地の「実践桜会支部」を訪問しました

学園は卒業生の皆さまとの連携をさらに深めるため、同窓会組織である一般社団法人教育文化振興実践桜会と情報交換の場を毎月設けるとともに、学園理事や職員が全国の支部を訪問しています。

2022年度は7月10日に山本章正 学園理事長が神奈川支部、11月1日に難波雅紀 大学・短期大学部学長が九州支部を訪問。学園の近況についてご報告し、卒業生の皆さまと交流を行いました。

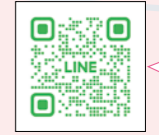


神奈川支部の皆さまと山本章正理事長(7月10日)。

九州支部の皆さまと難波雅紀学長(11月1日)。

## LINE公式アカウントを開設

実践女子学園では、卒業生の方のためのLINE公式アカウント『実践女子学園 桜むすびonline』を開設しています。卒業生の皆さまに、中高大短の“今”や卒業後のキャリアサポート・リスク、人生を豊かにするのに役立つ情報をお届けしています。卒業生限定のお得な情報も配信する予定です。ぜひこの機会に、友だち追加をお願いいたします。



友だち追加はコチラから!

## わたしの今

卒業生の皆さまの近況をお伝えするコーナーです。皆さまもぜひお便りをお寄せください。

ご存じですか? 実践OGが初代なでしこジャパンに

**森佳代子(旧姓:津田)さん**  
大学 文学部国文学科 1978年卒  
1975年、日野寮生のサッカー好きが集まってサッカー同好会を立ち上げ、1980年には卒業生で「PAF」というチームを結成しました。翌年、日本女子代表が初召集され、PAFからも2名が参加。初代なでしこジャパンには実践のOGがいたことが私たちの誇りです。

地域で音楽やダンスの講師を務め、手芸リメイク教室もスタート

**高島直子(旧姓:草壁)さん**  
短大 家政科生活専攻科 1966年卒  
卒業生の方と交流を図ることができた、と思い、ペンを取りました。私は6年間の母の介護を終え、現在は地域の施設でウクレレの弾き語りや手話ダンスの講師を務めています。来月から、手芸リメイクの教室を始めることとなりました。

親子で実践の卒業生に。折々、学生時代を思い起こす機会も

**匿名希望さん**  
大学 家政学部食物学科 1981年卒  
今年度、娘が実践女子大学を卒業することに。私は食物学科、2人の娘は生活科学部で学びました。親子で行事に参加したり、娘が調理実習で学んだ内容を家で披露してくれたり、学生時代を思い出す機会に、長期にわたって恵まれました。